

〔別紙様式2〕

特殊事由により水産物輸入割当品目を輸入しようとする場合の使用原料確認票

水産庁加工流通課長 殿

申請年月日
申請者名
住 所
電話番号

※ 確認番号
※ 確認年月日

下記の貨物について、製品の原料として使用することについて確認されたく申請します。

記

品 目	
原 産 地	
インボイス番号	
B / L 番 号	
カ ー ト ン 数	
キ ロ 数	

注) 今回の申請を含めたこれまでの確認履歴を裏面に記載すること

上記のとおり確認する。

水産庁加工流通課長

(確認印)

〔裏面〕

原料使用履歴

申請 回数	申請年月日	原料使用量 (kg)	原料在庫量 (kg)	輸 入 確 認 申 請数量 (kg)	うち当該原 料による製 品数量(kg)	確認年月日及び水 産庁加工流通課押 印※	備 考
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
1 0							
1 1							
1 2							
1 3							
1 4							
1 5							
1 6							
1 7							
1 8							
1 9							
2 0							

※申請時には以下を削除すること

別紙様式 2 の記入要領

表面について

- (1) 「申請者名」欄には、個人の場合は本人の個人名、法人の場合は会社名及び代表権者（代表権を委任されたものを含む。）を記載すること。
- (2) 「品目」欄には、当該原料の品目名を記載すること。
- (3) 「原産地」欄には、申請しようとする貨物の原料の原産地を国・地域名（領有地等の領有地名等）を記載すること。
- (4) 「インボイス番号」欄には、当該原料の輸出時のインボイスの番号を記載すること。
- (5) 「B/L 番号」欄については、当該原料の輸出時の船荷証券の番号を記載すること。
- (6) 「カートン数」及び「キロ数」欄には、当該原料の輸出数量をそれぞれ記載すること。

- (注) 1 ※印が付されている欄は、記載しないこと。
2 欄に記載し切れないときは、別紙として添付すること。

裏面について

- (1) 「原料使用量」欄には、申請しようとする貨物に使用した原料の数量を記載すること。
- (2) 「原料在庫量」欄には、申請しようとする貨物の加工後の原料の在庫量を記載すること。
- (3) 「輸入確認申請数量」欄には、本原料確認票を用いて申請しようとする製品の数量を記載すること。
- (4) 「うち当該原料による製品数量」欄には、当該原料を使用し、生産された製品数量を記載すること。
- (5) 原料を加工する途上において、水産物輸入割当品目でないものを加工するために原料が使用された場合など、特殊事由による貨物の輸入の対象外のものに原料が使用された場合、その際の原料の用途、使用された数量を「備考」欄に記載する。また、「備考」欄にはその他の記載すべき事項があれば記載する。

- (注) 1 ※印が付されている欄は、記載しないこと。
2 初回の申請からの使用履歴を記載すること。
3 輸入発表において枚数により割当てが行われるものは、枚数で記載すること。
4 欄に記載しきれないときは、同じ様式を別紙として添付すること。